

令和3年度
第4回 球磨川水系学識者懇談会
説明資料

住民・自治体からの河川整備に関する主な意見

令和4年3月28日

国土交通省 九州地方整備局
八代河川国道事務所
熊本県土木部河川港湾局
河川課

- ・ 球磨川流域では、令和2年7月豪雨以降、球磨川の復旧・復興に向けた説明会等を流域各市町村で開催してきました。
- ・ これらの説明会等には、延べ6, 622人の方々に参加いただき、河川整備に関するご意見も数多くいただいたことから、これらのご意見を参考にしながら、球磨川水系河川整備計画（原案）の案を作成しました。

【説明会等の開催概要（※令和4年2月末時点）】

○令和2年7月豪雨からこれまで説明会等を 計190回以上 実施。（説明会の内容は以下のとおり）

- ・ 知事が住民の皆様の御意見・御提案をお聴きする会（R2.10月～11月：計30回）
- ・ 知事の仮設団地訪問（R3.7月～10月：計8回）
- ・ 球磨川水系事業説明会（緊急治水対策プロジェクト、遊水地、引堤、輪中堤・宅地かさ上げ）（R3.2月～R4.2月：計46回）
- ・ 球磨川水系流域治水プロジェクト、復旧・復興プラン説明会（R3.8月～9月：計8回）
- ・ まちづくりに関する説明会（地区別懇談会）R3.2月～R4.2月：計105回）

延べ6, 622人 の参加をいただき、多くの意見をいただいた。

○ 知事が住民の皆様の御意見・御提案をお聴きする会 (R2. 10月～11月：計30回)



知事が住民の皆様の御意見・御提案をお聴きする会（山江村）



知事が住民の皆様の御意見・御提案をお聴きする会（五木村）

○ まちづくりに関する説明会（地区別懇談会） (R3. 2月～R4. 2月：計105回)



まちづくりに関する説明会（人吉市）



まちづくりに関する説明会（八代市）

- 球磨川水系事業説明会（緊急治水対策プロジェクト、遊水地、引堤、輪中堤・宅地かさ上げ等）
（R3. 2月～R4. 2月：計46回）



事業説明会（緊急治水対策プロジェクト）
（芦北町）



事業説明会（緊急治水プロジェクト）
（人吉市）



事業説明会（輪中堤・宅地かさ上げ）
（球磨村）



事業説明会（遊水地）
（相良村）

○ 知事の仮設団地訪問（知事による緑の流域治水の説明と住民の皆様との意見交換）（R3. 7月～10月：計8回）



知事による緑の流域治水の説明と
住民の皆様との意見交換（八代市）



知事による緑の流域治水の説明と
住民の皆様との意見交換（相良村）

○ 球磨川水系流域治水プロジェクト、復旧・復興プラン説明会（R3. 8月～ 9月：計8回）



球磨川水系流域治水プロジェクト、復旧・復興プラン説明会
（あさぎり町、錦町）



球磨川水系流域治水プロジェクト、復旧・復興プラン説明会
（水上村、湯前町、多良木町）

令和2年7月以降の説明会等でいただいたご意見

球磨川水系

○令和2年7月以降の説明会等でいただいた流域治水・河川整備に関するご意見をカテゴリー・分類別に整理しました。

○いただいた意見を参考にしながら、球磨川水系河川整備計画(原案)の案を作成しました。

カテゴリ	分類	意 見	本文関係箇所(国)	本文関係箇所(県)
流域治水	河道掘削	・球磨川やその支川の河道掘削、流木等の撤去を早急をお願いしたい。	5.1.1. 洪水、津波、高潮等による災害の発生 の防止又は軽減に関する事項	4.1. 河川整備の理念目標 5.1.1 洪水等による災害の発生 の防止又は軽減に関する事項 5.2.4 河川環境の整備と保全に に関する事項
		・嵩上げでなく、河道を昔の高さにすればダムも不要。		
		・水位の上昇は土砂の堆積が原因ではないか。		
		・中川原公園を撤去してほしい。		
		・過去の地歴をみた新しい掘削も行ってほしい。		
		・もっと深い掘削をお願いしたい。		
		・河道拡幅や堤防整備を行ってほしい。		
		・掘削した土砂の有効利用をお願いしたい。		
		・掘削土砂の置き場の安全性を検証してほしい。	5.1.1. 洪水、津波、高潮等による災害の発生 の防止又は軽減に関する事項	5.1.1 洪水等による災害の発生 の防止又は軽減に関する事項
		・球磨川と川辺川の合流点の土砂が流出しないか心配。		
		・石坂堰の対策を行ってほしい。	2.1.6. 維持管理 5.2.2. 洪水、津波、高潮等による災害の発生 の防止又は軽減に関する事項	5.2.4 河川環境の整備と保全に に関する事項
	・住民自らが土砂をさらうような取り組みも必要ではないか。			
	・河道掘削や堤防整備では下流に負荷がかかることも念頭 に対策が必要。	5.1.1. 洪水、津波、高潮等による災害の発生 の防止又は軽減に関する事項	4.2 洪水等による災害の発生 の防止又は軽減に関する目標	
	堤防整備	・堤防の嵩上げで川が見えなくならないようにしてほしい。	2.3.3. 良好な景観の保全・創出 5.1.1. 洪水、津波、高潮等による災害の発生 の防止又は軽減に関する事項	4.4 河川環境の整備と保全に に関する事項
		・引堤の計画の方が水をより貯められ、良いと思う。	5.1.1. 洪水、津波、高潮等による災害の発生 の防止又は軽減に関する事項	5.1.1 洪水等による災害の発生 の防止又は軽減に関する事項
		・堤防整備には河川の流れも考慮し、工夫してほしい。		
		・堤防が決壊して人吉で内水排除が不能となった原因の検証 を行ってほしい。	4.2.5. 内水対策	
		・内水対策や内水排除の検証も行うべきではないか。		
		・支川の対策も必要ではないか	—	

○令和2年7月以降の説明会等でいただいた流域治水・河川整備に関するご意見をカテゴリー・分類別に整理しました。

○いただいた意見を参考にしながら、球磨川水系河川整備計画(原案)の案を作成しました。

カテゴリ	分類	意 見	本文関係箇所 (国)	本文関係箇所 (県)
流域治水	遊水地	・早期に遊水地を整備してほしい	5.1.1. 洪水、津波、高潮等による災害の発生の防止又は軽減に関する事項	4.1. 河川整備の理念 4.2. 洪水等による豪雨の発生の防止又は軽減に関する目標 6.1 流域のあらゆる関係者との連携
		・河道掘削や遊水地等の総合的な治水対策をしてほしい。		
		・下流域のため、協力したい。		
		・球磨川流域のモデル地区となるようにお願いしたい。		
		・遊水地は上流に整備することがベストではないか。		
		・耕作放棄地や遊休農地を遊水地にし、直接河川に流れないようにしたほうが良い。		
		・遊水地には反対だが、被害を繰り返さないためにも協力しなければならないと思う。		
		・遊水地についてはしっかりとした補償をお願いしたい	5.1.1. 洪水、津波、高潮等による災害の発生の防止又は軽減に関する事項	4.2. 洪水等による豪雨の発生の防止又は軽減に関する目標 6.1 流域のあらゆる関係者との連携
		・遊水地の効果は理解できたが、住民へのリスクはいかがなものか。		
		・補償内容を示してほしい。また、十分な補償を行ってほしい。		
		・地役権方式をおこないつつ、被害が発生したら補償する方式とできないか。	5.1.2. 河川環境等の整備と保全に関する事項	4.4 河川環境の整備と保全に関する事項
		・遊水地を整備した後の環境がどうなるかわからない。		
		・遊水地の事例を見たが、雑草が多く、見栄えが悪い。		
		・景観に思い入れがあるため、遊水地の方式は堀込方式としないほしい。	5.1.1. 洪水、津波、高潮等による災害の発生の防止又は軽減に関する事項	4.1. 河川整備の理念 5.1.1 洪水等による災害の発生の防止又は軽減に関する事項 6.1 流域のあらゆる関係者との連携
		・遊水地の位置を示してほしい。		
		・遊水地の効果を示してほしい。		
		・流域治水全体の中で、遊水地でどれだけの水量を貯める必要があるのか。		
		・地役権方式は水を貯めると営農ができなくなるのではないか。		
		・協力したいが、進め方が悪いと思う。		
		・従来計画されていた引堤の対象範囲であれば、地域や地権者の了解が得られるのではないか。		
		・なぜ流水型ダムだけでなく、遊水地も必要となるのか		
		・引堤ではなく遊水地の計画となった経緯を説明すべき		
		・遊水地ありきの計画なのではないか。		
		・遊水地ありきで進められ、元の居住地に戻りたいが、決心できない。		
		・遊水地は下流域のためというが、上球磨ではどのような対策が取られるか。		
		・遊水地整備におけるボーリング調査や用地測量等はまとめて行ってもらいたい。		
		・水は上流からくるので、上流の遊水地が決まってから話をしてほしい。		

○令和2年7月以降の説明会等でいただいた流域治水・河川整備に関するご意見をカテゴリー・分類別に整理しました。

○いただいた意見を参考にしながら、球磨川水系河川整備計画(原案)の案を作成しました。

カテゴリ	分類	意 見	本文関係箇所(国)	本文関係箇所(県)
流域治水	遊水地	・流水型ダム、市房ダムの有効活用を行えば、遊水地は不要ではないか。	5.1.1. 洪水、津波、高潮等による災害の発生防止又は軽減に関する事項	4.1. 河川整備の理念目標 6.1 流域のあらゆる関係者との連携
		・農地を守るために知恵を絞ってほしい。		
		・阿蘇にある黒川程度の川幅であれば効果があると思う。		
		・遊水地よりも下流の河川整備をしてほしい。		
		・遊水地よりも巨岩等の障害物を撤去するとよいのではないか。		
		・遊水地よりも堤防嵩上げ等の別の対策を行ってほしい。		
		・遊水地は田等の減少につながり、理解が得られないのではないか。		
		・遊水地は農家の気持ちを踏みにじるものではないか。		
		・遊水地の反対意見への対応はどうするか。		
		・急流である球磨川に遊水地は適さず、遊水地では効果がない。治水対策は水を円滑に流すしかないと思う。		
		・営農しているか否かなど条件が違い、意見が言いにくい。		
		・まちづくりと遊水地は切り分けて話をしたい。		
		・洪水により遊水地から越水するのではないか。		
		・農地復旧と遊水地では矛盾があるのではないか。税金が無駄になる。	—	6.1 流域のあらゆる関係者との連携

○令和2年7月以降の説明会等でいただいた流域治水・河川整備に関するご意見をカテゴリー・分類別に整理しました。

○いただいた意見を参考にしながら、球磨川水系河川整備計画(原案)の案を作成しました。

カテゴリ	分類	意 見	本文関係箇所 (国)	本文関係箇所 (県)
流域治水	流水型ダム	・生命、財産等を守るにはダムが必要。	4.2.2. 洪水対策 5.1.1. 洪水、津波、 高潮等による災害の 発生防止又は軽減 に関する事項	—
		・ダムを柱とした、支川も含めた様々な対策をベストミックスで早急に行ってほしい。		
		・ダムの治水効果を実証してもらいたい。		
		・ダムをつくるのであれば、治水専用のダムとしてほしい。		
		・流水型ダムも市房ダム同様に操作できるダムとしてほしい。		
		・ダムの有効性が示し、早期の河川整備計画作成のための判断を。		
		・穴あきダム、流水型ダムであれば早期の着工を行ってほしい。		
		・流水型ダムであれば、生活環境だけでなく、美しい風景も壊さずに済むのではないか。		
		・ダムを含めて効果がある治水対策は実施すべき		
		・堤防整備や河道掘削等のダム以外の様々な対策を進め、不足をダムで補う考え方で実施してほしい。		
		・ダムの目的を広く報せてほしい。		
		・ダムの在り方の新しい形を作ってほしい。		
		・ダムの効果があれば、住民はありがたいと思い、再建にも繋がるのではないか。		
		・行政は住民の生命・財産を守ることが一番である。		
		・ダムの議論は河川に堆積した土砂を撤去する等やれることをやってからにしてほしい。		
		・ダムによらない治水には限界があるのではないか。		
		・周囲では流水型ダムが必要との声もあったが、構造、費用、利水等を含めた広い視点にたち提示してもらいたい。		
		・ダムができるまで数十年も待てない。		
		・ダムによらない治水、今できる対策を進めるべき。		
		・来年大雨が降るかもしれないのに、10年先のダム計画が議論されることは疑問である。		
		・流水型ダムであっても6割しか減少しない。残りの4割はどうするか。		

○令和2年7月以降の説明会等でいただいた流域治水・河川整備に関するご意見をカテゴリー・分類別に整理しました。

○いただいた意見を参考にしながら、球磨川水系河川整備計画(原案)の案を作成しました。

カテゴリ	分類	意 見	本文関係箇所 (国)	本文関係箇所 (県)
流域治水	流水型ダム	・美しい球磨川を持つ人吉市の街並みが、ダム建設で廃れてしまわないようにしてほしい。	5.1.2. 河川環境等の整備と保全に関する事項	—
		・ダム構造は環境に配慮して、表面水だけ流せるようにできないか。		
		・法アセスを行わないという判断に抗議したい。		
		・流水型ダムは環境影響に一定の効果があるが、安全対策や環境への細かな配慮が必要である。		
		・ダムを造ると水量が減るかもしれず不安で、観光面も心配である。		
		・美しい球磨川で観光の再生をしたいが、穴あきダムでも水が濁ることが心配。		
		・穴あきダムが環境に優しいと言われていることを危惧している。		
		・穴あきダムの下流はどうなっているのか。		
		・人命と環境であれば、まず、人命、その次に環境と考える。		
		・流水型ダムにしても環境への影響は必ずあると思う。		
		・ダムは環境影響が大きく、後世にも美しい河川や環境を残したい。		
		・アユや焼酎のイメージにも影響する		
		・ダムは最後の判断だが、ダムを造れば川が変わる。		
		・ダム建設の判断は慎重にほしい。		
		・ダムのメリットばかりでなく、デメリットも示して公平な資料で説明し、民意を問うべきである。		
		・平常時と非常時の民意は違い、気候変動の影響を考えるとダムは必要かもしれないが、球磨川、川辺川は残してほしい。		
		・自然な治水を考えてほしい。		
		・流水型ダムは五木ダムの問題、環境問題もあり、進めない方が良くと思う。		

○令和2年7月以降の説明会等でいただいた流域治水・河川整備に関するご意見をカテゴリー・分類別に整理しました。

○いただいた意見を参考にしながら、球磨川水系河川整備計画(原案)の案を作成しました。

カテゴリ	分類	意 見	本文関係箇所(国)	本文関係箇所(県)
流域治水	流水型ダム	・グリーンニューディールという日本初のモデルとしてほしい。 ・ダムが過疎化の一因となっていると思う。 ・観光にも役立つダムとしてほしい。 ・水没予定地の施設や道路等の付替の課題にしっかり対応してほしい。 ・五木村は流水型ダムに翻弄され衰退していくのではないかと不安である。 ・流水型ダムの建設にかかわらず、ダム補償問題・生活再建がどうなるのか示してほしい。 ・ダム計画等にあたっては地域を二分しないように丁寧な説明を行ってほしい。 ・ダム推進は地域を分断する。 ・生活再建に取り組み、今やれることをやってからダムの議論を行うべき。	6.5. 水源地域の活性化	-
		・気象変動の影響も踏まえてダムの検討を行うべきである。 ・想定外のことは今後も発生し得るため、流水型ダムで本当に大丈夫なのか。 ・ダムができたから溢れないということではない。 ・流水型ダムに集中するのではなく、流域全体で行う治水を行ってほしい ・流水型ダムよりも山の管理を行うべきである。 ・ダムを含めてあらゆる方法について検証し、最も有効な方法としてほしい。 ・川辺川以外にも複数の流水型ダムを作ってほしい。 ・ダムがあってもなくても、大きな被害が起こらないような対策としてほしい。 ・ダムよりも防備林が重要。 ・バックウォーターを発生させないためにも事前放流等を行ってほしい。	4.2.2. 洪水対策 5.1.1. 洪水、津波、高潮等による災害の発生の防止又は軽減に関する事項 5.2.2. 洪水、津波、高潮等による災害の発生の防止又は軽減に関する事項 6.6. 流域全体を視野に入れた取組にあたって	-

○令和2年7月以降の説明会等でいただいた流域治水・河川整備に関するご意見をカテゴリー・分類別に整理しました。

○いただいた意見を参考にしながら、球磨川水系河川整備計画(原案)の案を作成しました。

カテゴリ	分類	意 見	本文関係箇所(国)	本文関係箇所(県)
流域治水	流水型ダム	・川辺川ダム建設促進協議会、球磨川豪雨検証委員会、球磨川流域治水協議会と移っていくことに不信感がある。また、検証結果にも疑問がある。	1.2.3. 治水事業の沿革	—
		・流水型ダムありきの豪雨検証委員会となっており、民意を動かそうとしているのではないか。		
		・ダムの議論よりも、令和2年7月豪雨の被害実態調査が先ではないか。		
		・住民投票でダムの賛否をはっきりさせ、後世にこの問題を残したくない。		
		・流水型ダム、市房ダム、瀬戸石ダムの検証を行ってほしい。		
		・ダム中止を行わなければ、被害は少なくなったのではないか。		
		・ダム中止などの政治的災害とも言えるのではないか。		
		・民意ではなく、知事の考えが動いたのではないか。		
		・ダムありきで議論が進められるのは問題である。		
		・ダムよりも安全な住まいや街の再建、被災箇所の対応が先ではないか。	6.1. 関係機関、地域住民等との連携 6.6. 流域全体を視野に入れた取組にあたって	5.1.2. 河川環境の整備と保全に関する事項 5.2.2 洪水等による災害の発生防止又は軽減に関する事項
		・ダム建設よりも人吉をどう復興するかが一番の問題である。		
		・人吉市のまちづくりがどうなるかがわかってから、ダムの方向性を決定してほしい。	5.1.1. 洪水、津波、高潮等による災害の発生防止又は軽減に関する事項	5.2.2 洪水等による災害の発生防止又は軽減に関する事項
		・流水型ダムの有事の管理がしっかり行われるか不安。管理組合等作れないか。		
		・流水型ダムと市房ダムの操作の連携がとれ、機能するか心配。		
		・流水型ダムのスクリーンに流木等が詰まり、水位が上がり溢れるのではないかと不安である。	5.1.1. 洪水、津波、高潮等による災害の発生防止又は軽減に関する事項	—
		・流水型ダムには反対である。		
		・住民の意向に沿った治水対策を講じてもらいたい。		
		・ダムではなく、創造的な対策を行ってほしい。		
		・ダムは逃げる時間を稼げるというが、住民からは違うという声があった。		
		・緊急放流が怖い。		
		・ダムや緊急放流への理解が不足している。わかりやすい説明が必要。	5.1.1. 洪水、津波、高潮等による災害の発生防止又は軽減に関する事項	—
		・ダムをつくるなら多目的にすべきではないか。		
		・五木村の瀬目トンネルは流水型ダムができて大丈夫なのか。		

○令和2年7月以降の説明会等でいただいた流域治水・河川整備に関するご意見をカテゴリー・分類別に整理しました。

○いただいた意見を参考にしながら、球磨川水系河川整備計画(原案)の案を作成しました。

カテゴリ	分類	意 見	本文関係箇所(国)	本文関係箇所(県)
流域治水	市房ダム	・洪水の予測時は早めの対応をお願いしたい。	5.1.1. 洪水、津波、高潮等による災害の発生防止又は軽減に関する事項	5.2.2 洪水等による災害の発生防止又は軽減に関する事項
		・市房ダムの利水も大事だが、治水の容量も確保してほしい。		—
		・市房ダムは事前放流等を行い有効活用できるのではないか。		
		・市房ダム再開発内容はどのようなものか。		
		・市房ダムのことを正しく知ってもらえるよう十分な説明をお願いしたい。	—	1.2.1. 洪水の概要
		・どこまでの治水安全度とするか、流域治水の考えを踏まえ導き出してほしい。		4.1. 河川整備の理念
		・市房ダムのサイレンは人吉より下流でも鳴らしてほしい。		4.4. 河川環境の整備と保全に関する目標
		・市房ダムの管理は適切だったのか。しっかり管理してほしい。		5.2.1. 球磨川水系の特徴を踏まえた維持管理に関する事項
		・市房ダムの堆砂を除去してほしい。		5.2.2 洪水等による災害の発生防止又は軽減に関する事項
		・除去した堆砂の活用はどうするか。		5.2.4. 河川環境の整備と保全に関する事項
		・市房ダムは築年数が経ち、亀裂等が入っていないか。		6.1 流域のあらゆる関係者との連携
		・土砂流入により、市房ダムは浅くなっているのではないか。		
		・市房ダムができて水が汚れ、遊泳禁止となった。		—
		・市房ダムの環境影響を説明してほしい。	4.4. 河川環境の整備と保全に関する目標	
		・市房ダムが建設され、浸水時にヘドロが流れるようになった。		
		・市房ダムに貯まった土砂は、様々な観点から専門家を集めて検証すべきである。	—	1.2.1. 洪水の概要
		・市房ダムの土砂や緊急放流等の検証を行ってほしい。		6.1 流域のあらゆる関係者との連携
		・緊急放流せずに水を貯め続けたら堤体は壊れるのか。	—	6.1 流域のあらゆる関係者との連携
		・市房ダムの緊急放流のアナウンスは怖かった。流水型ダムと両方緊急放流されたらと不安も抱いた。		
		・昭和40年の洪水は市房ダムの操作ミスではないか。	—	
		・市房ダムに対する安易な見方をもっているのではないか。		

○令和2年7月以降の説明会等でいただいた流域治水・河川整備に関するご意見をカテゴリー・分類別に整理しました。

○いただいた意見を参考にしながら、球磨川水系河川整備計画(原案)の案を作成しました。

カテゴリ	分類	意 見	本文関係箇所(国)	本文関係箇所(県)
流域治水	田んぼ ダム等	・田んぼへ貯留することは良い。 ・農業用ため池の治水への利用はできないか。	6.6. 流域全体を視野に入れた取組にあたって	5.1.1 洪水等による災害の発生の防止又は軽減に関する事項
	治山・砂 防	・砂防ダムの維持管理をしっかりと行ってほしい。 ・所管毎の縦割りではなく、土砂や流木対策も一体的に対応してほしい。 ・砂利や流木から守る五木ダムと新しい振興に配慮してほしい。 ・山間部の小さな谷で堰堤工事を行うことも重要ではないか。 ・土砂や流木が流入しないような対策をお願いしたい。 ・土砂対策の検証をお願いしたい。	4.2.7. 総合的な土砂管理に向けた取組 5.2.2. 洪水、津波、高潮等による災害の発生の防止又は軽減に関する事項	5.1.1 洪水等による災害の発生の防止又は軽減に関する事項 5.2.2. 洪水等による災害の発生の防止又は軽減に関する事項 6.1 流域のあらゆる関係者との連携
		・山の保水力のために山林の管理をしっかりと行ってほしい。 ・治山の問題を広く報せてほしい。 ・人口減少で山の手入れがなされていない。 ・治水対策と併せて治山も進めてほしい。 ・鹿害により土砂が流出しやすくなっているため対応してほしい。 ・早急に林道や山腹崩壊へ対応してほしい。 ・川と山を一体となって対策する必要がある。 ・山の開発への指導が不足しているのではないか。	5.2.2. 洪水、津波、高潮等による災害の発生の防止又は軽減に関する事項 6.6. 流域全体を視野に入れた取組にあたって	4.1 河川整備の基本理念 5.1.1. 洪水等による災害の発生の防止又は軽減に関する事項 5.2.2. 洪水等による災害の発生の防止又は軽減に関する事項
		・早急な宅地嵩上げ、地区の造成、道路や鉄道の嵩上げを行ってほしい。 ・下流から嵩上げを行ってほしい。 ・ダムの議論に左右されることなく宅地嵩上げ等を行っていくべきである。 ・対策後水位ではなく痕跡水位で宅地嵩上げを行ってほしい。 ・嵩上げ高さに不満や不安がある。 ・高層階の住宅提供をお願いしたい。 ・ピロティ化等で工夫を行うと良いのではないか。 ・宅地嵩上げを行うと風が怖い。 ・相良村でも宅地嵩上げを行ってほしい。 ・早急な高台移転を行ってほしい。 ・高台移転は村の計画と一緒に方向性を示してほしい。 ・浸水しなかった農業振興地域を宅地化してほしい	5.1.1. 洪水、津波、高潮等による災害の発生の防止又は軽減に関する事項 — 6.6. 流域全体を視野に入れた取組にあたって	4.1. 河川整備の理念目標 5.1.1 洪水等による災害の発生の防止又は軽減に関する事項 6.1 流域のあらゆる関係者との連携 5.1.1 洪水等による災害の発生の防止又は軽減に関する事項の(2)被害対象を減少させるための対策

○令和2年7月以降の説明会等でいただいた流域治水・河川整備に関するご意見をカテゴリー・分類別に整理しました。

○いただいた意見を参考にしながら、球磨川水系河川整備計画(原案)の案を作成しました。

カテゴリ	分類	意 見	本文関係箇所(国)	本文関係箇所(県)
流域治水	避難・防災	・継続的な訓練と防災教育が必要。	5.2.2. 洪水、津波、高潮等による災害の発生の防止又は軽減に関する事項	5.1.1. 洪水等による災害の発生の防止又は軽減に関する事項
		・ハザードマップを見直してほしい。	6.2. 防災力向上及び河川環境の保全等に資するコミュニティ形成への支援活動	5.2.2. 洪水等による災害の発生の防止又は軽減に関する事項
		・気象予報士を配置してほしい。	6.4. DX(デジタル・トランスフォーメーション)等の新たな取り組みの推進	6.3 DX(デジタル・トランスフォーメーション)等の新たな取り組みの推進
		・従来型と併用して、IT、ICT等を活用した防災も必要。		
		・逃げ遅れを減らすため、実効性のある避難計画策定をお願いしたい。		
		・ボランティアセンターへの財政支援をお願いしたい。		
		・災害車両等を充実させてほしい。	5.1.1. 洪水、津波、高潮等による災害の発生の防止又は軽減に関する事項	5.1.1. 洪水等による災害の発生の防止又は軽減に関する事項
		・河川ライブカメラを設置してほしい。	5.2.2. 洪水、津波、高潮等による災害の発生の防止又は軽減に関する事項	5.2.2. 洪水等による災害の発生の防止又は軽減に関する事項
		・戸別受信機や衛星電話の設置が必要である。		
		・警告灯やサイレンの設置を行ってほしい。		
		・救助活動に使用するボート等の資機材が不足している。		
		・高台の避難場所の確保を行ってほしい。	6.6. 流域全体を視野に入れた取組にあたって	4.1 河川整備の基本理念
		・避難経路の確保が最も大切である。		
		・避難する場所や手段、連絡体制、防災施設の位置を見直し、避難体制の強化が必要である。		
		・避難情報の早期提供をお願いしたい。	5.2.2. 洪水、津波、高潮等による災害の発生の防止又は軽減に関する事項	5.2.2. 洪水等による災害の発生の防止又は軽減に関する事項
		・災害時の避難に関する情報の取りまとめを行ってほしい。		
		・支援物資の情報を円滑に提供してほしい。		
		・地域の魅力を高めながら、防災力を高める必要がある。	6.2. 防災力向上及び河川環境の保全等に資するコミュニティ形成への支援活動	
		・今後の環境を踏まえ、浸水地域や危険地域に指定する対策も必要ではないか。	6.6. 流域全体を視野に入れた取組にあたって	5.1.1. 洪水等による災害の発生の防止又は軽減に関する事項

○令和2年7月以降の説明会等でいただいた流域治水・河川整備に関するご意見をカテゴリー・分類別に整理しました。

○いただいた意見を参考にしながら、球磨川水系河川整備計画(原案)の案を作成しました。

カテゴリ	分類	意 見	本文関係箇所(国)	本文関係箇所(県)
利水	利水	・農業等で川辺川の利水を行いたい。	5.2.3. 河川の適正な利用及び流水の正常な機能に関する事項	4.3. 河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持に関する目標
連携・協働	住まい再建	・早急に安全安心な暮らしをしてほしい。 ・川辺川や球磨川は大事だが、安全な暮らしは必要。	6.6. 流域全体を視野に入れた取組にあたって 6.7. 沿川市町村のまちづくり計画との連携	4.1. 河川整備の基本理念
環境・利用	生態系	・河床の変化により魚が減少している。	4.4.2. 多様な動植物の生息・生育・繁殖環境の保全・創出 5.1.1. 洪水、津波、高潮等による災害の発生の防止又は軽減に関する事項 5.1.2. 河川環境等の整備と保全に関する事項	4.4. 河川環境の整備と保全に関する目標
		・環境配慮と観光に繋がる治水対策をお願いしたい。		
		・工事の影響が心配であり、どのように自然や生物を守っていくのか示してほしい。		
		・瀬戸石ダムの環境モニタリングを実施すべき。		
		・瀬戸石ダムから土砂を掘削し搬出するため下流に流れず、アユの産卵場が減っている。		
		・アユの名所であることを踏まえ、自然を守ってほしい。		
環境・利用	水質	・後世まで人が住みたいと思えるような環境・清流を残してほしい	4.3. 河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持に関する目標 4.4.3. 水質の保全 5.1.2. 河川環境等の整備と保全に関する事項	4.4. 河川環境の整備と保全に関する目標 5.1.2 河川環境の整備と保全に関する事項 5.2.4.河川環境の整備と保全に関する目標
		・海底に沈んだ土砂やゴミに苦慮している。		
		・ツアーや川遊びができるような水質の川にしてほしい。		
環境・利用	まちづくり	・自然豊かな人吉の風土を残してほしい。	5.1.2. 河川環境等の整備と保全に関する事項 6.7. 沿川市町村のまちづくり計画との連携	4.4. 河川環境の整備と保全に関する目標 5.1.1.洪水等による災害の発生の防止又は軽減に関する事項 5.1.2 河川環境の整備と保全に関する事項
		・川を活かしたまちづくりを行ってほしい		
		・街の賑わい創出に協力してほしい。		
		・復旧・復興の発信を行うことが大事。		
		・まちのビジョンが治水を決めるため、しっかりとしたビジョンを作成する必要がある。		
		・医療や福祉を含めたコンパクトな地域の機能集約が必要である。		
維持管理	維持管理	・地域おこし協力隊に来てもらうなどの取り組みも考えられる。	5.2.2. 洪水、津波、高潮等による災害の発生の防止又は軽減に関する事項 (8) 許可工作物の管理・指導	— 5.2.2. 洪水、津波、高潮等による災害の発生の防止又は軽減に関する事項
		・瀬戸石ダム撤去には多額のお金が必要であり、洪水が予想される際はゲートを開放したままにするというのではないのか。		
		・瀬戸石ダムの設置位置は治水対策上安全なのか。		
		・瀬戸石ダムも撤去してほしい。		
維持管理	維持管理	・橋に流木が堰き止められ、ダム化したため、橋梁を少なく、かつ高くしてほしい。		

○令和2年7月以降の説明会等でいただいた河川整備以外に関するご意見は以下のとおり。

カテゴリ	分類	意 見
その他	その他	・県の姿勢をもっと県南に向け、現場を見て対応をすべき。
		・国道219号の代替路線として、県道等の強化、改良をお願いしたい。
		・道路や鉄道に影響のないように、賢明な判断をお願いしたい。
		・道路の整備・改良・適切な維持管理を要望したい。
		・道路の無電柱化を行うと道路は拡幅なくてよい。
		・農地被害を受けない対策をお願いしたい。
		・農地や道路等の早期復旧をお願いしたい。
		・大手ゼネコンではなく、地元にお金を回すべき
		・観光資源を守ることができる治水対策をお願いしたい。
		・少子高齢化が進んでおり、人が戻ってくるような対策をお願いしたい。
		・心のケアなどやれることをやるべきである。
		・球磨川から海へ導水トンネルを掘れないか。
		・ふっこう割等の需要喚起策を息長く行ってほしい。
		・風評被害が心配である。
		・観光の動線は他県と連携してほしい。
		・街の賑わい創出に協力してほしい。
		・土地の利活用について考えてほしい。
		・復興の予算はどうするのか。

○令和2年7月以降の説明会等でいただいた河川整備以外に関するご意見は以下のとおり。

カテゴリ	分類	意 見
その他	その他	・区画整理は町全体を広げる良い機会である。
		・老神神社の文化的価値にも目を向け、観光に活かしてほしい。
		・現実的な観光対策をお願いしたい。
		・温泉と文化財の保存を検討してほしい。
		・中心市街地のグランドデザインを議論させてほしい。
		・若い世代が希望を持てる取り組みをお願いする。
		・創造的復旧・復興をお願いしたい。
		・地域の祭りを復活させてほしい。
		・地元企業へ仕事が回るようにしてほしい。
		・道路が浸水被害の要因ではないか。
		・鉄道の早期復旧をお願いしたい。
		・鉄道は洪水水位よりも高くしてほしい。
		・営農就労支援の補助金の増額を行ってほしい。
		・農地の区画整理を行ってほしい。
		・様々なイベントへの資金援助をお願いしたい。
		・農地の後継者を確保することが必要である。
		・医療対策も必要。
		・町内の介護施設・サービスを充実させてほしい。
		・福祉活動への資金援助をお願いしたい。

○令和2年7月以降の説明会等でいただいた河川整備以外に関するご意見は以下のとおり。

カテゴリ	分類	意 見
その他	その他	・地域に住み続けられる様々な支援をお願いしたい。
		・街灯や防犯灯の電気代への支援をしてほしい。
		・復旧復興に向けた様々な支援をお願いしたい。
		・行政への対応に不満を持っている。
		・コミュニティバスの便数を増やしてほしい。
		・行政のサービス、手続きの見直しをしてほしい。
		・アンケートではなく、個別調査を行ってほしい。
		・災害公営住宅を追加整備してほしい。
		・子ども食堂の復活をお願いしたい。
		・子供の送迎を行う親の負担を軽減してほしい。
		・ふるさとが寂しくなるので流域に戻りたい。
		・空き家や空き地を利用した集落
		・温泉センターの方針を示してほしい。
		・小学校の再建や統廃合はどう考えているのか。
		・再建は良いが、耐震性が確保されているか不安である。
		・コミュニティ施設の早期復旧をお願いしたい。
		・懇談会を定期的を開催してほしい。
		・将来的に仮設住宅は公営住宅となるようにしてほしい。
		・仮設住宅はいつまで入居できるのか。入居期限の延長をしてほしい。

○令和2年7月以降の説明会等でいただいた河川整備以外に関するご意見は以下のとおり。

カテゴリ	分類	意 見
その他	その他	・渡地区の土捨て場はそのままグラウンドにするとよいのではないか。
		・災害公営住宅の位置を示してほしい。
		・災害公営住宅の数を増やしてほしい。
		・消防団の機材も被災したため、支援してほしい。
		・バス営業所は安全な場所に設置してほしい。
		・バスは公共交通だけでなく、防災インフラとした政策をお願いしたい。
		・介護サービス事業者への支援をお願いしたい。
		・公費解体における説明時期へ不満がある。
		・製材業者への支援を拡充してほしい。
		・継続的な支援、補助金の給付を行ってほしい。
		・「みんなの家」をボランティアで使わせてほしい。
		・農地転用がネックになり、農地の宅地化が困難である。
		・地域のコミュにティが崩れている。
		・清願寺ダムの土砂撤去をお願いしたい。

各市町村から球磨川水系河川整備計画についていただいたご意見

球磨川水系

- 各市町村と球磨川水系河川整備計画に係る意見交換を行い、いただいた意見については以下のとおり。
○いただいた意見も参考に、河川整備計画（原案）の案を作成しました。

No.	分類	各市町村から河川整備計画に係る意見交換 によりいただいた意見	本文関係箇所(国)	本文関係箇所(県)
1	全体	「命と環境の両立」「令和2年7月豪雨からの復旧・と創造的復興」「持続可能な発展」の実現。	4.1. 河川整備の基本理念	4.1. 河川整備の基本理念
2		球磨川の抜本的治水対策の早期実現。		
3		ダム計画に翻弄され続けてきた過去の経緯等を踏まえ、より良い計画を策定できるよう、地域の意見を聴き、地域の課題を十分理解して進めることが重要。		
4	河川整備(掘削、堤防整備、宅地かさ上げ、洪水調節施設、砂防、防災ステーション等)	河川や砂防堰堤の掘削、堤防整備等の継続実施。	5.1.1. 洪水、津波、高潮等による災害の発生の防止又は軽減に関する事項 5.2.2. 洪水等による災害の発生の防止又は軽減に関する事項	5.1.1. 洪水等による災害の発生の防止又は軽減に関する事項 5.2.2. 洪水等による災害の発生の防止又は軽減に関する事項
5		浸水被害軽減のために地元要望されていた整備メニューの実施。		
6		住家等の浸水被害が頻発する地区について、堤防整備等の治水対策の実施。		
7		堤防補強についての継続実施。		
8		宅地かさ上げについては、住民の関心も高いため、まちづくり等との連携・実施。	5.1.1. 洪水、津波、高潮等による災害の発生の防止又は軽減に関する事項 6.7. 沿川市町村のまちづくり計画との連携	5.1.1 洪水等による災害の発生の防止又は軽減に関する事項 6.1 流域のあらゆる関係者との連携
9		支川沿いにおいて、周辺の土地利用等を考慮した宅地かさ上げや堤防整備の実施。		
10		市町村管理河川の整備において、合流先の国や県管理河川の整備との連携・調整の実施。	6.6. 流域全体を視野に入れた取組にあたって	6.1 流域のあらゆる関係者との連携
11		流下能力を向上させる対策としての河道掘削とあわせて、堆積土砂や流木等の撤去の実施。	5.1.1. 洪水等による災害の発生の防止又は軽減に関する事項 5.2.2. 洪水等による災害の発生の防止又は軽減に関する事項	5.1.1. 洪水等による災害の発生の防止又は軽減に関する事項 5.2.2. 洪水等による災害の発生の防止又は軽減に関する事項
12		河道掘削では、上流側での掘削が下流側に負荷をかけるおそれがあるため、下流側への影響を考慮した掘削の実施。		
13	支川の河川整備や砂防堰堤・流路工等の整備の実施。	5.2.2. 洪水、津波、高潮等による災害の発生の防止又は軽減に関する事項	5.1.1. 洪水等による災害の発生の防止又は軽減に関する事項 5.2.2. 洪水等による災害の発生の防止又は軽減に関する事項	

各市町村から球磨川水系河川整備計画についていただいたご意見

球磨川水系

○各市町村と球磨川水系河川整備計画に係る意見交換を行い、いただいた意見については以下のとおり。
○いただいた意見も参考に、河川整備計画（原案）の案を作成しました。

No.	分類	各市町村から河川整備計画に係る意見交換 によりいただいた意見	本文関係箇所(国)	本文関係箇所(県)
14	河川整備(掘削、堤防整備、宅地かさ上げ、洪水調節施設、砂防、防災ステーション等)	流量を低減させる対策・遊水機能を有する土地の確保・保全にあたり、土地利用状況への配慮。	6.6. 流域全体を視野に入れた取組にあたって	5.1.1 洪水等による災害の発生の防止又は軽減に関する事項 6.1 流域のあらゆる関係者との連携
15		市町村管理河川においても遊水機能を有する土地の確保・保全に取り組んでいくことが重要。		6.1 流域のあらゆる関係者との連携
16		事業実施により地権者と協議する際には、できるだけ地権者の意向に配慮。		5.1.1. 洪水、津波、高潮等による災害の発生の防止又は軽減に関する事項
17		遊水地等の流量を低減させる対策において、関係者や地元意向に配慮。		
18		自治体と連携し、河川防災ステーションなどの川の防災拠点の整備。		
19		河川整備にあたって、主要な産業である農業をはじめとする河川利用・利水への配慮。		
20		流水型ダムをはじめとする整備メニューの具体化にあたっての地域住民への丁寧な説明。		—
21	内水対策	内水氾濫の被害軽減につながる治水対策の実施。	4.2.5. 内水対策 5.1.1. 洪水、津波、高潮等による災害の発生の防止又は軽減に関する事項	5.1.1 洪水等による災害の発生の防止又は軽減に関する事項
22		輪中堤・宅地かさ上げの整備において、国・県・市町村の連携した内水排水対策の実施。		6.1 流域のあらゆる関係者との連携
23	維持管理	河道内樹木の繁茂により景観等への悪影響や農業用水の取水への影響の懸念もあり、適切な維持管理の実施。	5.2.2. 洪水、津波、高潮等による災害の発生の防止又は軽減に関する事項 5.1.2. 河川環境等の整備と保全に関する事項	5.2.2. 洪水等による災害の発生の防止又は軽減に関する事項
24		樋門・樋管等の管理について、操作人の高齢化や担い手不足等の懸念もあり、遠隔化・自動化等の促進。		
25	環境	河川整備にあたっては、八代海の環境や水産資源等への配慮。		4.4. 河川環境の整備と保全に関する目標
26	観光	地域振興のため、球磨川のもつ貴重な観光資源を活かした取り組みの実施。	4.4.4. 良好な景観の保全・創出 5.1.2. 河川環境等の整備と保全に関する事項	4.4. 河川環境の整備と保全に関する目標